

Ⅲ 6 容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績

(1) 平成 28 年度容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績

容器包装廃棄物の減量化やリサイクルを推進するため、平成 7 年 6 月に成立した「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」(容器包装リサイクル法)が成立し、市町村等では「市町村分別収集計画」を策定し、平成 9 年度から計画的な分別収集が行われている。県では、これら市町村等の分別収集計画を取りまとめた「千葉県分別収集促進計画」を策定し、容器包装廃棄物の分別収集状況等を把握している。

平成 28 年度における実施状況を見ると、前年度と比較して全品目について、概ね横ばいで推移している。

プラスチック製容器包装については、33 市町村の実施、また、紙製容器包装については、17 市町村の実施にとどまり、この 2 品目の分別収集があまり進んでいない状況にある。

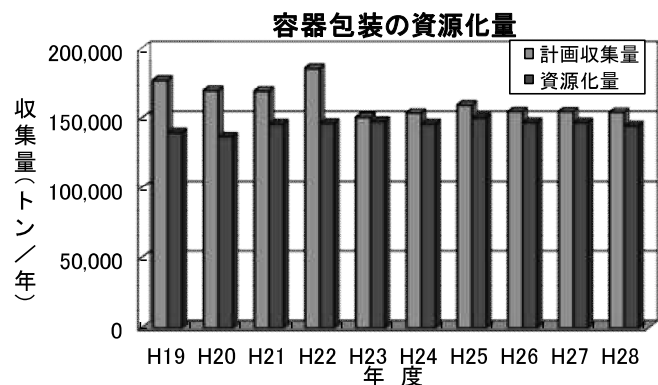
平成 28 年度容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績※

品目		計画量 (t) (A)	収集量 (t) (B)	収集率 (%) (B/A)	再商品化 量 (t) (C)	再商品化 率 (%) (C/B)	計画 市町村数	実施 市町村数	
								(合併後の数)	
ガラスびん	無色	17,345	16,298	94.0	16,203	99.4	53	53	
	茶色	12,010	11,486	95.6	11,396	99.2	53	53	
	その他	10,373	10,907	105.2	10,837	99.4	54	54	
ペットボトル		17,297	16,513	95.5	15,715	95.2	54	54	
紙製容器包装		2,438	616	25.3	474	76.9	20	17	
プラスチック製容器包装 (白色トレイ含む)		29,528	31,297	106.0	27,591	88.2	35	33	
缶	鋼製	11,495	8,756	76.2	8,723	99.6	54	54	
	アルミニウム製	9,528	9,449	99.2	9,413	99.6	54	54	
飲料用紙製容器		845	518	61.3	518	100.0	50	50	
ダンボール		43,511	44,062	101.3	44,011	99.9	54	54	
全品目		154,370	149,903	97.1	144,882	96.7			

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 計画収集量及び再商品化量の経年変化

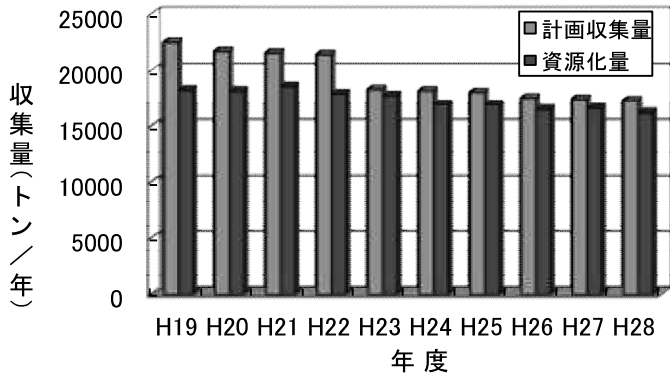
容器包装リサイクル法の分別収集対象品目は、平成 9 年度に分別収集が開始された時点では、無色ガラスびん、茶色ガラスびん、その他のガラスびん、ペットボトル、鋼製容器包装、アルミニウム製容器包装、飲料用紙製容器包装の 7 品目であったが、平成 12 年度からは紙製容器包装、プラスチック製容器包装、段ボールの 3 品目が追加され、現在に至っている。



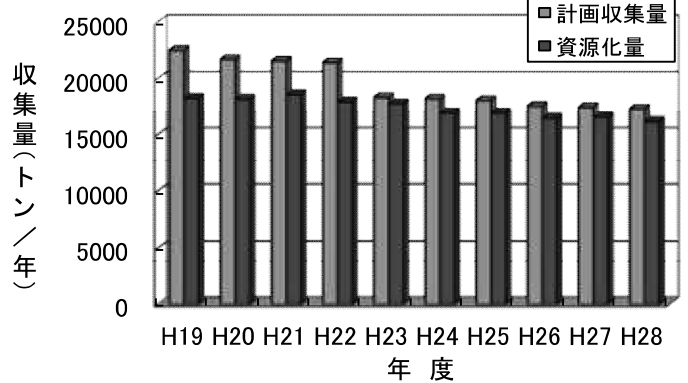
この品目追加により、再商品化された容器包装廃棄物総量は、平成9年度の約9万トンから平成12年度に12万トン、平成28年度には約15万トンと増加した。

また、品目別の再商品化（資源化）量状況をみると、飲料用として広く利用されていた鋼製容器（スチール缶）が減少する一方、小容量のペットボトルの普及等により、ペットボトルの再商品化量が増加傾向にあるのが特徴的である。

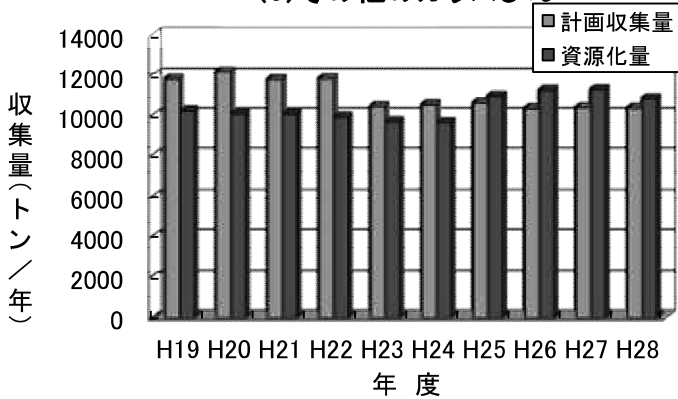
(1)無色ガラスびん



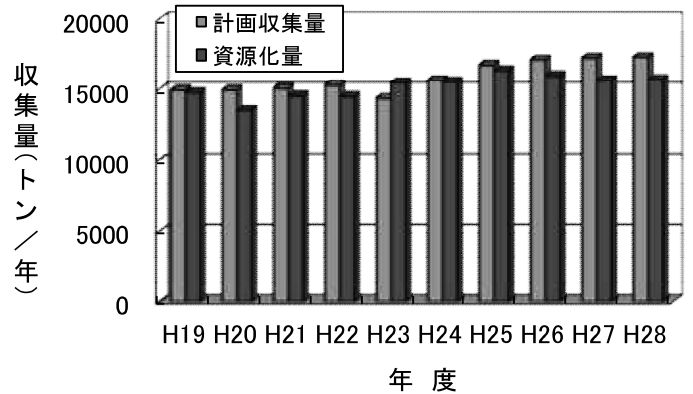
(2)茶色ガラスびん



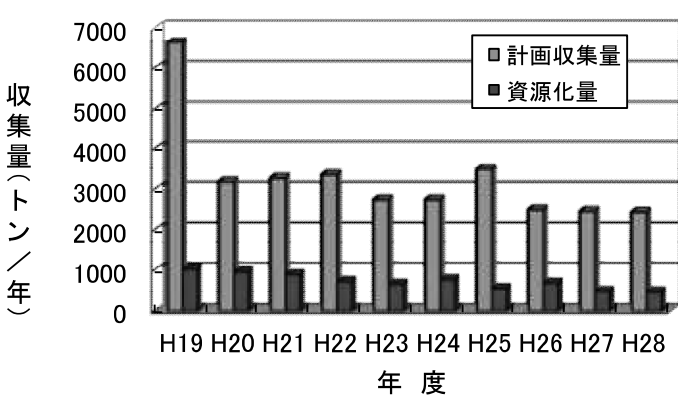
(3)その他のガラスびん



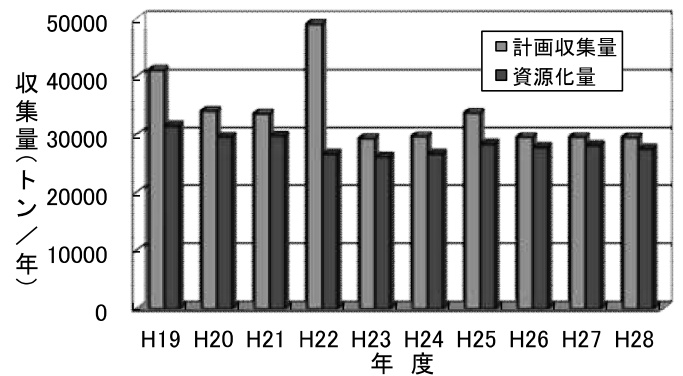
(4)ペットボトル



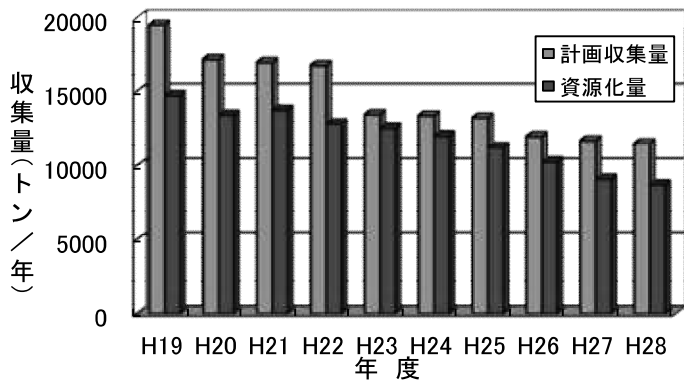
(5)紙製容器包装



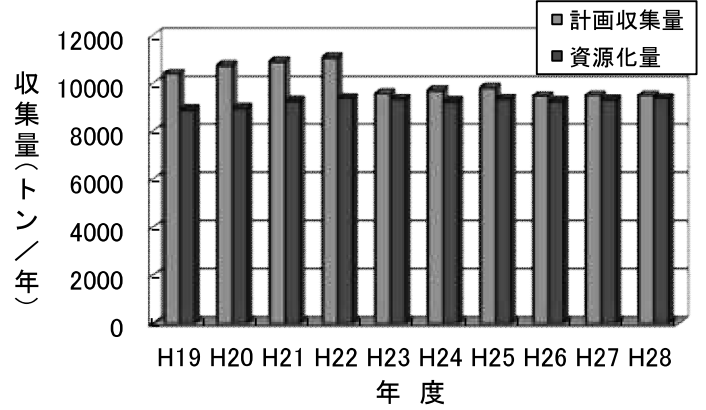
(6)プラスチック製容器包装



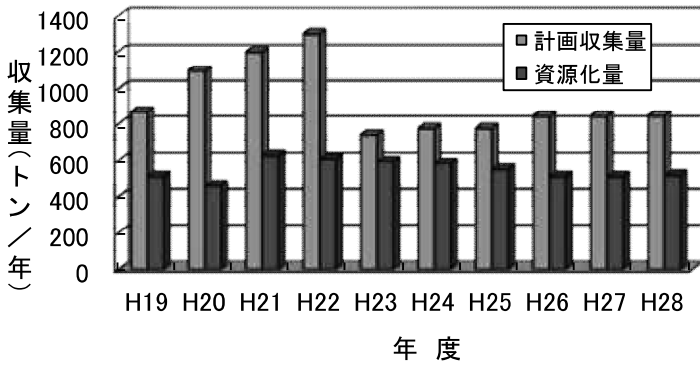
(7)鋼製容器包装



(8)アルミニウム製容器包装



(9)飲料用紙製容器包装



(10)段ボール

